

再評価結果（平成17年度事業継続箇所）

担当課：道路建設課

担当課長名：岸 忠繁

事業名：都市計画道路 産業通り（西原立体）	事業区分：街路	事業主体：宇都宮市		
起終点：自：川田町 至：陽南2丁目		延長：0.7 km		
事業概要：本路線は、市街化区域の外縁に沿って計画された半環状道路であり、JR宇都宮線と一級河川に分断されている市街地南部地域の東西交通の連絡強化に資する重要な路線である。また、交通渋滞解消にも寄与する事業として、国道事業とあわせて整備を図るものである。				
H 3年度事業化	S 47年度都市計画決定 (H 3年度変更)	H 3年度用地着手		
		H 12年度工事着手		
全体事業費	134.4 億円	事業進捗率		
		78%		
		供用済延長		
		0 km		
計画交通量	33,000 台/日			
費用対効果 分析結果	B/C (事業全体)	総費用：(残事業)/事業全体 31/176 億円	総便益：(残事業)/事業全体 583/583 億円	基準年： 平成17年
	(残事業)	事業費：31/176 億円 維持管理費：0.06/0.06 億円	走行時間短縮便益：555/555 億円 走行費用減少便益：21/21 億円 交通事故減少便益：7/7 億円	
感度分析の結果				
事業の効果等 東西交通の連絡強化、交通渋滞の解消を図る				
関係する地方公共団体等の意見 第3次渋滞プログラムで主要渋滞ポイントに指定され、接続する国道事業や県道事業と一体となり取り組んでいる				
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 事業区間の西側に大型ショッピングセンターの出店				
事業の進捗状況、残事業の内容等 H17年度末に国土交通省委託工事及び西側立体擁壁工事が完了予定 今後は、JR委託工事、東側立体擁壁工事の継続工事及び本市発注工事を実施				
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 平成12年度JR委託協定作業に時間がかかりJR工事着手が遅れたが、平成19年度末供用開始を見込んでいる				
施設の構造や工法の変更等 特段なし				
対応方針				
対応方針決定の理由 本事業は本市の道路網形成に欠くことの出来ない重要な事業であり、また事業進捗も概ね順調であり、完了の見通しも立っているため。				
事業概要図				



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。